

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室

TEL 03-5253-8111 内線 42354

アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成29年6月1日

リコール届出番号	4045	リコール開始日	平成29年6月2日
届出者の氏名又は名称	マツダ株式会社 代表取締役社長 小飼 雅道	問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター TEL 0120-386-919	
不具合の部位（部品名）	① 燃料装置（燃料ポンプ） ② 前輪緩衝装置（ロアアーム）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 燃料ポンプにおいて、樹脂製パイプ部の耐久性が不足しているため、パイプ内を流れる燃料の圧力と、エンジンや排気管からの熱影響を受けて当該パイプが劣化することがある。そのため、そのまま使用を続けると劣化が進行して、パイプに亀裂が入り燃料が漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。 ② フロントサスペンションにおいて、ロアアームのボールジョイントの製造工程が不適切なため、ボールジョイントソケット部に亀裂が発生しているものがある。そのため、走行中に大きな衝撃が加わると、ボールジョイントソケット部からボールジョイントが外れ、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、燃料ポンプ・フィルターキットを対策品に交換する。 ② 全車両、ロアアーム一式を対策品に交換する。		
不具合件数	①11件 ②24件	事故の有無	①無 ②無
発見の動機	① 市場からの情報による。 ② 市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に No. 4045 のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
マツダ	LA-SE3P ABA-SE3P	「RX-8」	SE3P-100065～SE3P-120576 平成15年2月14日～平成16年5月7日	12,984	①、②
			SE3P-120577～SE3P-144779 平成16年5月8日～平成20年2月16日	16,918	①
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年2月14日～平成20年2月16日	(計29,902台)	① 29,902台 ② 12,984台

本届出の内②は、平成16年2月26日付け届出番号「1042」及び、平成17年7月21日付け届出番号「1489」にてリコール届出を行ったものであるが、新たな原因が判明したため、対象を拡大し届出するものである。

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。